



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

茨城県支部

日赤茨城

2020.8

特別号

事業
報告

Red Cross Ibaraki

新型コロナウイルス感染症に対して
赤十字職員は一丸となり活動しています。



クルーズ船への救護班派遣

日本赤十字社は、クルーズ船への救護班の派遣をはじめ、赤十字病院での感染者の治療にあたっているほか、感染症拡大防止のための情報発信に努めています。

日本赤十字社は、皆さまから寄せられる活動資金（寄付）を財源に、救うことを続けています。



対応にあたる日本赤十字社の医療スタッフ

日本赤十字社
新型コロナウイルス特設サイト



活動の詳細は、
ホームページで紹介

ハートちゃん

発行元

日本赤十字社 茨城県支部

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町 2551

TEL.029-241-4516 FAX.029-241-4714

～県内の新型コロナウイルス感染症への取り組み～

医療活動 感染者の命を支える現場から

感染症指定医療機関である水戸赤十字病院と古河赤十字病院では、クルーズ船での感染者と県内感染者の命を支えるため、治療にあたってきました。

また、来院者の検温や入院患者への面会禁止等の対策をとり、院内感染防止に取り組んできました。



水戸赤十字病院

小原 克之 統括管理監

新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に広まり、日本でも24,000人以上が感染しました。茨城県でも225人が感染し、当院では、職員一丸となり、院内感染

防止に細心の注意を払いながら感染者の治療にあたっています。経済・社会活動の再開に伴う感染のさらなる拡大が危惧されており、これからも社会的距離を保ち、手洗い、マスク着用など感染防止策の再徹底が大切です。

※令和2年7月19日時点での数字を表示しています。



PCR検査



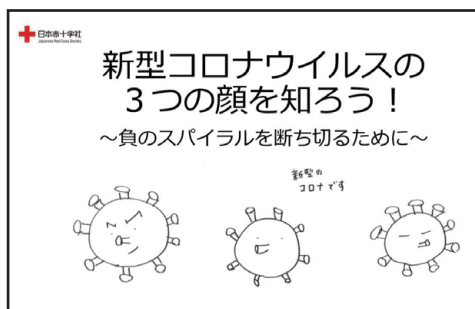
来院者の検温

情報発信 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！

青少年赤十字加盟校の「^{なかこうじ}日立市立中小路小学校」では、感染防止ガイドを使った学習が行われました。

このガイドは、予防啓発のために日本赤十字社が作成し、当支部が県内の全ての学校に電子版で配信したものです。

そのほか、当支部ではSNSやタウン誌を使った感染予防のための情報発信を行いました。



教材として使用された感染予防ガイド

日本赤十字社
新型コロナウイルスの
3つの顔を知ろう！



▲資料はこちらからダウンロード！



指導者からの声

医療従事者などへの心ない差別の報道を目にする度に、感染防止策の指導と合わせ、子ども達の心に広がる不安や差別の気持ちを取り除きたいと考えていました。

スクールカウンセラーから日本赤十字社の資料を紹介され、さっそく活用しました。子ども達も正しい情報を得ることと、自分でしっかり考えることが大切だと、気づいてくれたと思います。

日立市立中小路小学校 養護教諭 高井純子さん

～赤十字事業へのご協力のお願い～

献血への協力 献血は不要不急の外出にあたりません

新型コロナウイルスの影響が続いている状況下でも、輸血に必要な血液を確保するためには、全国で1日あたり約13,000人の方から献血にご協力をいただく必要があります。献血ルーム並びに献血会場では、複数の感染防止対策をとっておりますので、「患者さんの命を救う献血」の必要性にご理解いただき、今後も継続的なご協力をお願いいたします。

また、献血バスの受け入れにご協力いただける企業・団体様を随時募集しておりますので、ぜひ血液センターまでご連絡ください。

【茨城県赤十字血液センター献血推進課 TEL:029-246-5574】



飛沫対策で受付にフィルムを設置

活動資金への協力 皆さまのご支援が活動の財源です

広域・甚大化する自然災害のなかで、被災された方々の健康を守るために、活動資金を財源に、例えば、次のような備えに取り組みます。

毎月5,000円のご寄付で **緊急セット×年間40人分**

マスクやウェットティッシュなどの24点の生活必需品一式をお届けし、被災された方の健康を守ります。



災害に備え備蓄している緊急セット

- ご協力方法**
-  お振込: 本紙に付属した払込取扱票(ゆうちょ銀行)をご利用ください。
 -  クレジットカード: ホームページからお手続きください。
 -  遺贈(遺言や相続財産による寄付): 資料を送付のうえ、詳細をご説明します。

下の払込取扱票で活動資金へご協力いただいた方に、冊子「新型コロナウイルス3つの顔を知ろう!」を先着100名様にプレゼントいたします!

この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。ご賛同いただきましたら、ご支援いただけると幸いです。

99 東京		払 込 取 扱 票																	
口座記号番号		金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
0 0 1 0 0 0 7 8 9 8 7 2		※																	
加入者名		日本赤十字社茨城県支部										料金		備考		免			
ご依頼人・通信欄		おところ ※ おなまえ ※ お電話番号 ◎お礼状と領収書が不要な場合は ☒ をお願いします。 □不要 ◎このチラシをどこで手にしましたか ☒ をお願いします。 ☐ 市報・町内会の回覧 ☐ イベント ☐ 市報・町内会の回覧 ☐ 当支部からの郵送 (救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習) ☐ その他() R2 日赤茨城(特別号)										日附印							

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第53203号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号		振替払込請求書兼受領証																	
0 0 1 0 0 0 7 8 9 8 7 2		金額		千		百		十		万		千		百		十		円	
加入者名		日本赤十字社茨城県支部										料金		備考		免			
ご依頼人		様										日附印							

この受領証は、大切に保管してください。

～令和元年度 茨城県支部事業報告～

【災害救護活動】

台風第15号・第19号における救護班等の派遣
千葉県鋸南町等での巡回診療等
茨城県大子町での救護所運営等

【防災教育の推進】

幼稚園・保育所の職員向け防災教材の研修会を開催

【救急法等の普及】

救急法等の講習を452回開催、約1万5千人が受講

【国際支援活動】

赤十字奉仕団員等をミャンマー赤十字社へ派遣

【国際交流事業の推進】

青少年赤十字のメンバー（高校生5人）をマレーシア
赤新月社へ派遣

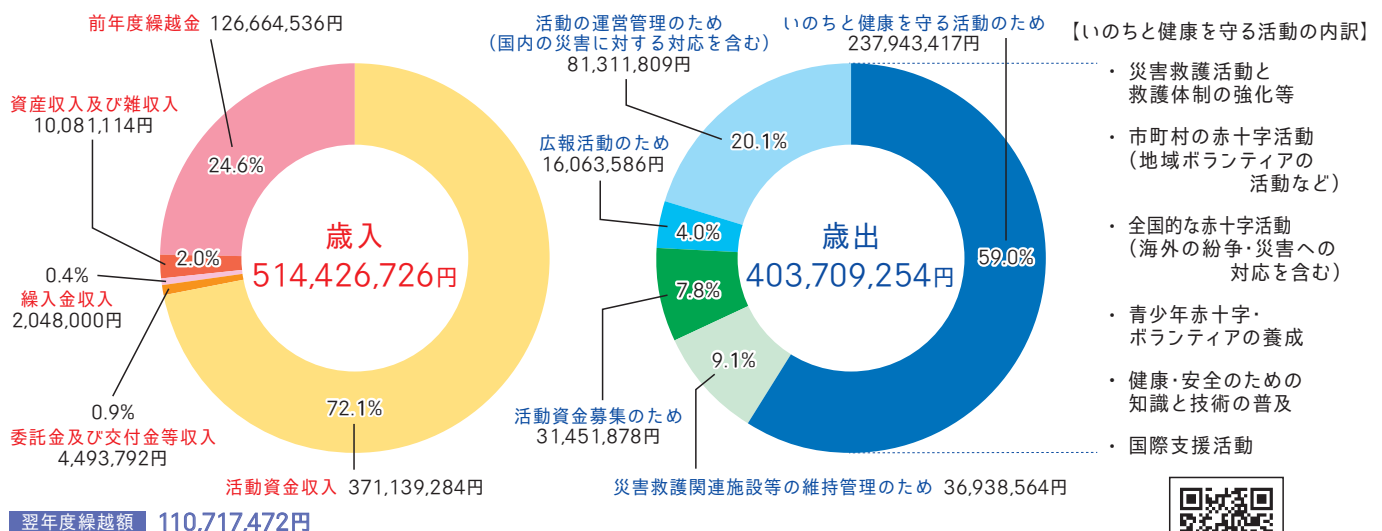


台風第19号 大子町保健センター



現地の小学生による傷の手当
（ミャンマー）

令和元年度 茨城県支部 決算報告



※上記決算のほか、令和元年台風第19号災害義援金(983件 514,219,675円)を受付し、茨城県を通じて被災者にお届けいたしました。
※水戸・古河赤十字病院、茨城県赤十字血液センター、日本赤十字社茨城県支部乳児院については、施設ごとの特別会計のため、上記決算には含まれておりません。



活動資金の使いみちを動画で紹介！▲

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。
なお、本受領証は、免税証として利用いただけます。

払込みいただいた金額は個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社
茨城県支部 組織振興課
電話 029-241-4516

〈ご注意〉
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は無料となります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

町内会・自治会を通したご協力のほか、ご都合にあった方法で受付けております。
この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。